

# とちぎの子どもの「確かな学力」向上のために

～平成27年度全国学力・学習状況調査結果から～

平成27年11月 栃木県教育委員会

この資料は、「平成27年度全国学力・学習状況調査」の結果から、県全体の状況や全国（公立）との比較から分かる特徴についてまとめたものです。今年度は、教科に関する調査結果を中心に、課題が多く見られた「主として活用に関する問題（B問題）」に焦点を当てています。この資料を活用しながら、学校における学習指導に関わる検証改善サイクルを運用するとともに、「確かな学力」向上のための指導改善にお役立てください。

## 1 教科に関する調査の結果から

### (1) 各教科の平均正答率

中学校の理科を除くすべての教科で、全国平均正答率を下回っており、特に、小学校の国語B、算数Bは低い結果となっています。

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、思考力・判断力・表現力等を育成するための学習活動を工夫しましょう。  
特に、言語活動を充実させながら、「自分の考えをまとめて書く力」を育てていきましょう。



#### ○ 本県の平均正答率

##### <小学校第6学年> ( )内は全国(公立)との差

問題	H21	H22	H24	H25	H26	H27
国語A	68.8 (-1.1)	82.9 (-0.4)	80.4 (-1.2)	61.1 (-1.6)	71.9 (-1.0)	68.9 (-1.1)
国語B	49.9 (-0.6)	77.2 (-0.6)	54.2 (-1.4)	47.9 (-1.5)	54.5 (-1.0)	63.1 (-2.3)
算数A	78.9 (+0.2)	74.8 (+0.6)	72.6 (-0.7)	76.8 (-0.4)	77.7 (-0.4)	73.9 (-1.3)
算数B	53.3 (-1.5)	49.0 (-0.3)	56.6 (-2.3)	56.3 (-2.1)	56.8 (-1.4)	43.0 (-2.0)
理科			59.5 (-1.4)			60.0 (-0.8)

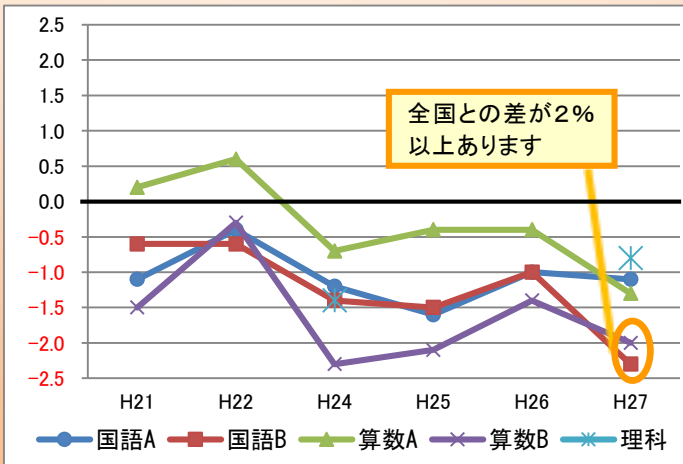
##### <中学校第3学年> ( )内は全国(公立)との差

問題	H21	H22	H24	H25	H26	H27
国語A	77.8 (+0.8)	74.8 (-0.3)	75.4 (+0.3)	77.2 (+0.8)	79.3 (-0.1)	75.7 (-0.1)
国語B	76.5 (+2.0)	65.8 (+0.5)	63.7 (+0.4)	68.0 (+0.6)	51.4 (+0.4)	65.2 (-0.6)
数学A	62.8 (+0.1)	63.8 (-0.8)	61.6 (-0.5)	63.8 (+0.1)	66.9 (-0.4)	63.5 (-0.9)
数学B	57.9 (+1.0)	42.8 (-0.5)	49.6 (+0.3)	41.1 (-0.4)	59.3 (-0.5)	40.4 (-1.2)
理科			51.5 (+0.5)			53.1 (+0.1)

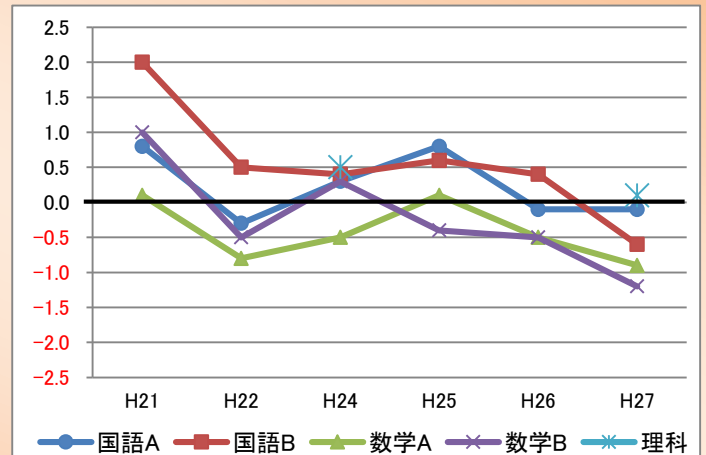
[H22,24 は抽出校の平均正答率]

#### ○ 全国平均正答率との差 (%)

##### <小学校第6学年>



##### <中学校第3学年>



(2) 活用に関する問題の正答数分布と解答形式ごとの平均正答率



ここでは、特に課題の多く見られた「活用に関する問題」に焦点を当てて見ていきましょう。正答数分布グラフと解答形式ごとの平均正答率から、どのようなことが分かるでしょうか。

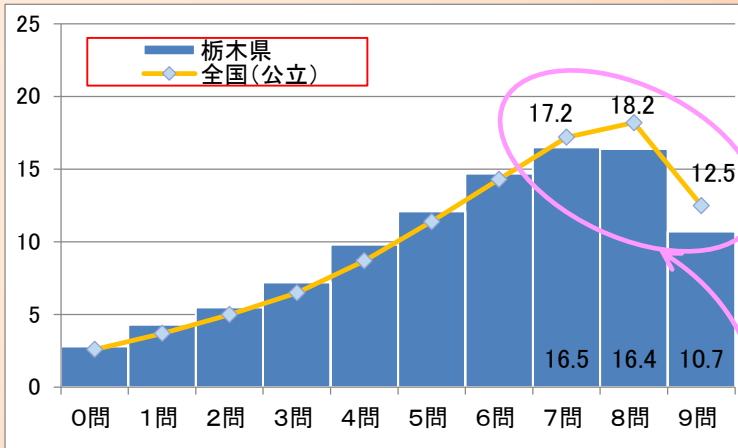
国語B、算数B、理科Bのいずれも、正答数の多い児童の割合が、全国に比べて少ないことが分かります。

解答形式ごとの平均正答率については、全国・本県ともに記述式問題が低いことが分かります。

思考力・判断力・表現力等を育成するためには、自分の考えを書く習慣を身に付けさせることが大切です。授業では、考えを書く活動を適切に行いましょう。また、正答数の少ない児童に対する指導とともに、伸びる児童をさらに伸ばす指導についても工夫していきましょう。



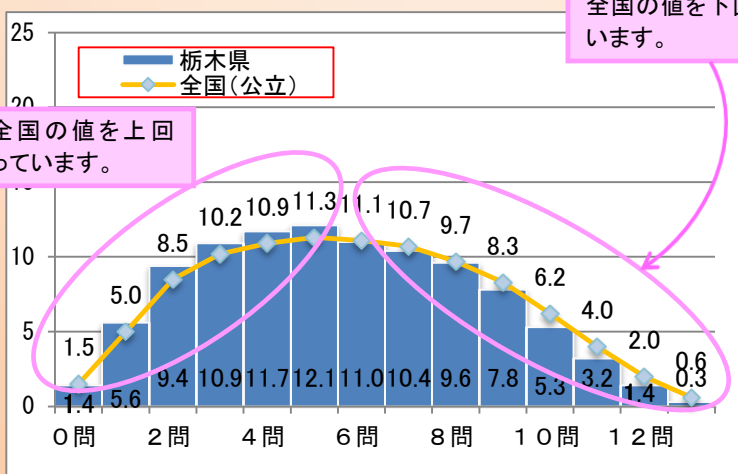
(%) <小学校 国語B> [横軸:正答数、縦軸:児童の割合]



[解答形式ごとの平均正答率(%)]

	選択式	短答式	記述式
栃木	66.6	79.0	52.6
全国(公立)	68.6	80.8	55.4
*全国との差	-2.0	-1.8	-2.8

(%) <小学校 算数B>



全国の上回っています。

全国の下回っています。

[解答形式ごとの平均正答率(%)]

	選択式	短答式	記述式
栃木	71.5	39.7	29.1
全国(公立)	70.6	42.2	32.5
*全国との差	0.9	-2.5	-3.4

(%) <小学校 理科B>



全国の下回っています。

[解答形式ごとの平均正答率(%)]

	選択式	短答式	記述式
栃木	63.1	58.5	43.6
全国(公立)	62.9	63.6	45.3
*全国との差	0.2	-5.1	-1.7

※正答数分布グラフは理科Bのデータですが、解答形式ごとの平均正答率は理科Aと理科Bを合わせたデータとなっています。  
 ※理科A：主として知識を問うものを集計  
 理科B：主として活用を問うものを集計

中学校国語B、数学Bは、正答数の少ない生徒の割合が、全国に比べて少ないことが分かります。

理科Bは、正答数の少ない生徒の割合が全国に比べて少ないだけでなく、16問以上正答した生徒の割合は全国を上回っています。

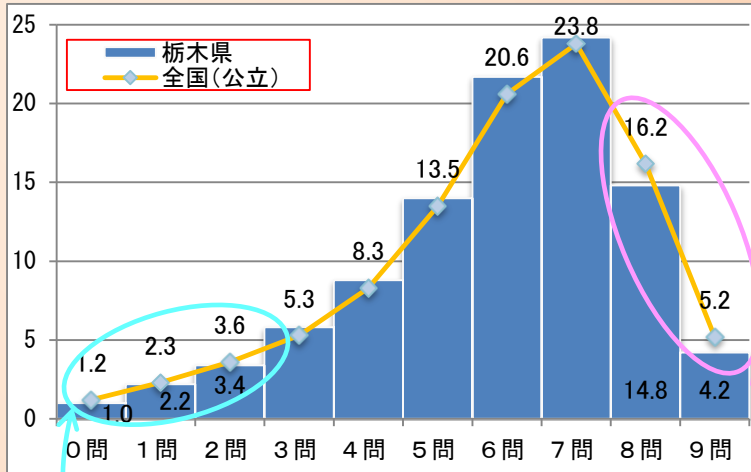
記述式問題の平均正答率は、選択式問題や短答式問題の平均正答率に比べると低いことが分かります。

中学校では、正答数の少ない生徒に対する個に応じた指導を丁寧に行っていると考えられます。

授業では、思考力・判断力・表現力等を育成するために、自分の考えを書かせる活動を適切に行うことが大切です。生徒の記述内容から学習状況を把握し、より一層個に応じた指導の充実を図っていきましょう。



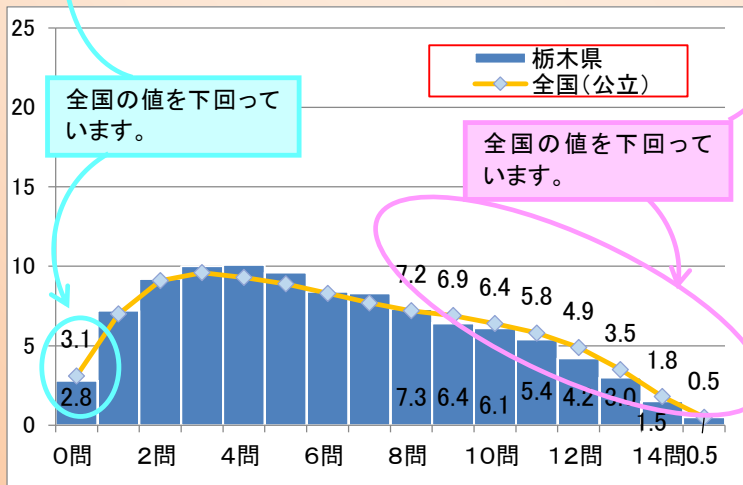
(%) <中学校 国語B> [横軸:正答数、縦軸:生徒の割合]



[解答形式ごとの平均正答率(%)]

	選択式	短答式	記述式
栃木	80.4		34.7
全国(公立)	80.3		36.7
*全国との差	0.1		-2.0

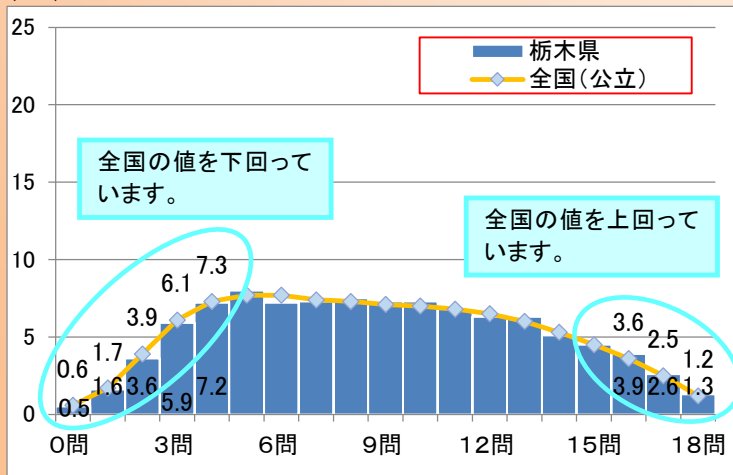
(%) <中学校 数学B>



[解答形式ごとの平均正答率(%)]

	選択式	短答式	記述式
栃木	46.4	46.0	33.8
全国(公立)	47.9	47.4	34.8
*全国との差	-1.5	-1.4	-1.0

(%) <中学校 理科B>



[解答形式ごとの平均正答率(%)]

	選択式	短答式	記述式
栃木	53.3	59.7	47.2
全国(公立)	53.1	61.6	45.8
*全国との差	0.2	-1.9	1.4

※正答数分布グラフは理科Bのデータですが、解答形式ごとの平均正答率は理科Aと理科Bを合わせたデータとなっています。